

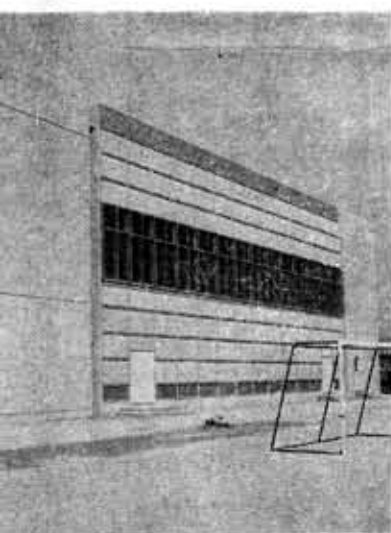
# 443万円に



○議会費	1億40万7千円
○労働費	4,411万5千円
○商工費	3,281万2千円
▷中小企業振興融資制度預託金	1,000万円
○公債費	3億7,428万7千円
○諸支出金	248万2千円
○総務費	8億8,602万2千円
▷向日市まつり	200万円
▷自転車置き場新設工事費	1,417万円
▷市民会館管理費	5,950万円

10億6,336万3千円

- ▷組合立中学校費 3億4,228万円
- ▷文化財保護費 751万円
- ▷第4・第5留守家庭児童会増築工事費 435万円
- ▷向陽プール運営補助金 111万円
- ▷社会体育振興会育成補助金 72万円
- ▷中央公民館・物集女公民館図書用図書購入費 147万円
- ▷各種社会教育団体育成補助金 159万円
- ▷留守家庭児童会育成費 3,240万円



# 52年度 会計 決算報告



## ○民生費

12億5,624万3千円

▷福祉医療費	271万円	▷精神薄弱者扶助費	1,002万円
▷身障者家庭奉仕員設置事業委託料	172万円	▷老人福祉センター費	2億7,087万円
▷社会福祉協議会補助金	570万円	▷屋間家庭保育委託料	169万円
▷老人健康診査委託料	109万円	▷無認可保育所入所者等補助金	447万円
▷ねたきり老人家庭奉仕員社会福祉協議会委託料	439万円	▷児童手当	4,470万円
▷老人クラブ事業補助金	134万円	▷ポニーの学校事務組合負担金	736万円
▷老人医療費	9,279万円	▷保育所管理費	4億4,965万円
▷老人福祉年金	334万円	▷委託児童措置費	2,574万円
▷老人福祉施設措置費	2,871万円	▷児童公園整備工事費	240万円
▷身体障害者扶助費	729万円	▷生活保護扶助費	1億2,963万円

昨年九月に開かれた市議会で、昭和五十二年の一般会計、特別会計の決算が認定されました。決算額は、一般会計、特別会計あわせて、歳入総額六十四億七千五百五十九万四千四百七十七円、歳出総額は六十四億三千四百四十二万七千七百七十七円、これを前年度と比較してみると、歳入では十億四千四百九十九万三千円（一九・五％）、歳出では十一億三百四十三万九千九百九十九円（二・〇七％）の増加となっています。

## 一般会計

一般会計の規模と収支  
一般会計決算の規模は、社会経済の発展、市民生活の向上にともなう、行政需要が増大しているため、年々増加しています。

## 高い福祉行政への比重

昭和五十二年の一般会計決算額は、歳入五十二億七千八百七十六万四千円（前年度比九億三千二百九十九万九千九百九十九円、二・〇七％の増加）、歳出五十二億五千三百九十九万六千九百九十九円（前年度比九億二千二百八十五万九千九百九十九円、二・〇三％の増加）です。

市税、前年度より19%増  
昭和五十二年の市税は、前年度より19%増の五億五千三百九十九万六千九百九十九円となりました。これは、土庫費、教育費、衛生費の増加があげられます。

行政比重について  
歳出決算の状況をみると、先にも触れましたが、民生費（二四・〇％）、教育費（二〇・三％）、総務費（一六・九％）、土木費（二・八％）、衛生費（一〇・八％）の順になっており、民生・教育部門に行政比重が占められています。

## ◆市民1人あたりは◆

昭和52年度、市民1人当たりに使われたお金は、つぎのようになっています

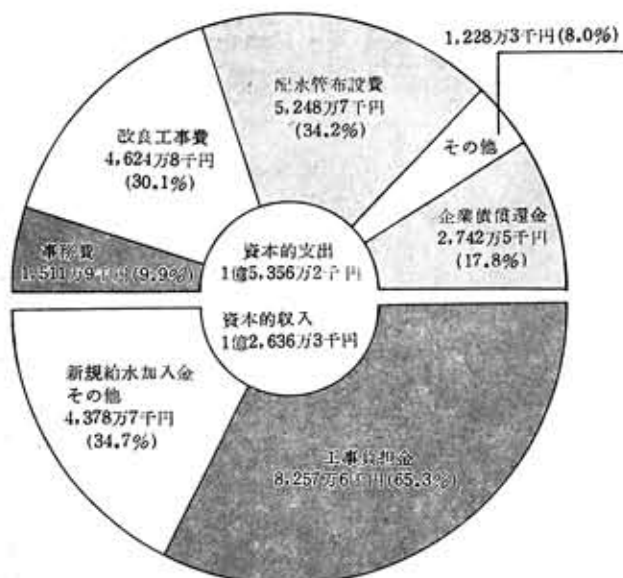


人口は住民基本台帳による  
48,351人（S.53.3.31）

▷議会費	2,077円
▷総務費	18,325円
▷民生費	25,982円
▷衛生費	11,753円
▷労働費	912円
▷農林水産業費	949円
▷商工費	679円
▷土木費	13,884円
▷消防費	4,243円
▷教育費	21,993円
▷公債費	7,741円
▷諸支出金	51円

## 水道会計

## 国保会計



昭和五十二年の水道事業会計の決算額は、事業収益においては、三億五千四百四十九万九千九百九十九円（前年度比一千二百一十一万九千九百九十九円、三・五％の増加）、一方、人件費・動力費などの事業費用は三億九千七百九十九万九千九百九十九円（前年度比五千三百九十九万九千九百九十九円、一六・八％の増加）です。

したがって、本年度は三千六百二十三万八千九百九十九円の赤字となり、前年度より繰越された未処理欠損金（累積）が増加しています。

